

# 「永原小学校の吉左右踊り・太鼓踊り伝承活動の取組」

## 1 学校名

始良市立永原小学校

## 2 学年・人数

全学年（30人）

## 3 日時・場所

### (1) 練習の日時・場所

9月：永原小学校体育館

### (2) 発表の日時・場所

平成30年9月23日（日） 平成30年度永原小学校・永原小校区合同秋季大運動会

## 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝承行事について

### (1) 名称

吉左右踊り(きそおどり)・太鼓踊り(たいこおどり)

### (2) 由来

旧加治木町に伝わる太鼓踊りは、由来が古く特に西別府地区の太鼓踊りには吉左右踊り(きそおどり)が付随している点に特徴がある。

吉左右踊りは、ドラ打ちという道化人(赤狐，白狐という)と数人以上の踊り手2組で構成される。白緋の着物を着て毛頭をかぶり，薙刀を持った朝鮮軍と，黒緋の着物を着て白鉢巻を結び太刀を持った薩摩軍とが，互いに向き合って斬り結ぶ間を，赤狐・白狐がひょうきんな身振りで回る。狐は島津義弘が朝鮮での戦いで道に迷ったとき，2匹の狐が道案内をしてくれたという伝説に基づくものとされている。

### (3) 構成等

吉左右踊りは，ドラ打ち2人・朝鮮軍・薩摩軍それぞれ10人で隊形を組み，薙刀や太刀，扇子を持ち，口元には付けひげを付けて踊る。太鼓踊りは，鉦打ち3人・太鼓打ち20人で隊形を組み，太鼓や鉦を打ちながら踊る。陣笠をつけた兵士姿の者が背に黒い羽根のついた矢旗を背負い，胸には締太鼓をさげ，口元にはひげを付けて，左右に足を上げながら太鼓を打ち，勇壮に踊る。

## 5 保存会や地域との連携の具体

毎年，9月初旬から秋季大運動会までの期間に，保存会の方々が動きを伝授して下さる。総合的な学習の時間等を中心に練習を重ね，秋季大運動会では多くの校区民が観覧する中，鉦や太鼓の音を響かせて発表し，喝采を得ている。また，夏季休業中に行われる「加治木太鼓踊り大会」にも親子で参加している児童もいる。

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

毎年、永原地域コミュニティ主催の「ふるさと学寮」では、5・6年児童が校区公民館で1週間の協同生活を行っている。その期間に、「吉左右踊り・太鼓踊り」の指導者の方も参加してくださり、食事を共にしながら交流をより深めている。

学校では総合的な学習の時間に由来等について調べることを行っている。練習時には、高学年が下学年児童に動きを教えるほほえましい場面も見られる。また、国語科では練習や発表時の心の変化を文章表現している。

## 7 取組の様子（練習状況、発表の場所）



【体育館内での練習風景より①】



【体育館内での練習風景より②】



【秋季大運動会での発表風景より①】



【秋季大運動会での発表風景より②】

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

〔児童の感想・意見〕

今年も運動会で「吉左右踊り・太鼓踊り」を発表することができた。今年は新しく転校してきた友達も「太鼓」の練習に取り組んでいた。私は、今年初めて「鉦」の係になった。地域の方から「鐘の音が小さいよ。もっと元気よく。かねの音が踊りの中心だよ。」と繰り返し教えて頂いた。運動会当日は、練習の成果を発揮することができ、とてもうれしかった。「太鼓」や「朝鮮軍・薩摩軍」・「きつね」や「ほた」の係の人たちも一生懸命だった。来年ももっと努力して、堂々と発表したい。

〔教員等の感想・意見〕

地域に伝わる伝統行事について、資料を使って調べたり家庭・地域の方々に取材して調べたりしたことを実際に体感できることは、とても貴重な経験である。夏季休業中にも練習に励み、当日（8月16日）早朝から家族で「吉左右踊り・太鼓踊り」に参加している児童もいる。旧加治木町内の主な神社や通り、小学校でも披露している。今後も貴重な体験について文章・絵画表現に取り組みせ、地域の良さや伝統を受け継いでいくことの重要性について学習させたい。